

議会だより

第98号



第二回定例会

(6月13日)

一般会計補正予算を可決

第2回町議会定例会は6月13日に開催され承認1件、報告2件、議案11件を審議し、原案どおり可決しました。

なお、提出された議案の内容は、条例の改正等が10件、補正予算1件です。また、町議会臨時会が4月30日と7月1日に開催されています。

□補正予算について□

一般会計については5,132万1千円を追加し総額25億5,259万円となりました。

主な歳出については除雪機械購入費2,728万円、診療所業務委託収益補償金1,077万円、開基120年記念アルバム作成264万円などです。

□承認案件□

○専決処分された平成24年度一般会計補正予算が承認されました。

歳入・歳出それぞれ所要の専決処分に対し承認されました。歳出では2,403万円が基金等に積み立てられました。

□条例の改正等□

○秩父別町職員の給与が削減されます。

平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、職務の級に応じて4%から6.5%を減額します。

○秩父別町新型インフルエンザ等対策本部条例ができました。

万が一、本町で新型インフルエンザが流行した場合、速やかな対応をとるための条例です。

○秩父別町国民健康保険条例の一部が改正されました。

国民健康保険から、後期高齢者医療制度に移行した場合の、保険料の軽減措置が延長されました。



□報告案件□

○平成24年度から平成25年度に繰越される歳出予算の報告がありました。

繰越された事業は、公営住宅等建設事業・スポーツセンター耐震改修事業等の建設工事です。

○株式会社秩父別振興公社の決算の報告がありました。

人事

今定例会では、人権擁護委員の推薦にあたり議会の意見を町長から求められ満場一致で同意をいたしました。

【人権擁護委員】

駅前町内

齊藤 康彦 氏

昭和27年7月11日生



所管事務調査 4月24日

総務経済常任委員会

本委員会は、農地の集積と担い手対策・定住促進賃貸住宅建設工事の概要について担当者の説明を受け、質疑応答により調査を実施した。

○農地の集積と担い手対策について

本町の基幹産業である農業は、生産者の弛まぬ努力の下で培われた生産技術と近年の良食味米の生産により、消費者から高い評価を得ており総じて安定した経営を維持している。

しかし、現在農家戸数169戸の内60歳以上の割合は38.5%、さらに今後10年間で後継者が不在で離農すると見込まれる農家戸数は48戸で全体の28.4%でありその面積は495haと予測される。

現在、1戸当たりの平均面積は17.6haであるが10年後には24.2haになると予測

されている。規模拡大は経営の効率化と農業所得の増加が期待できるが、今後受け手の確保と一層の効率化のため、分散された農地の集積が課題になると思われる。

一方、後継者がいる農家は34戸でJA北いぶき管内3町の中では高い率を維持している。

また、平成23、24年度においては成婚率が高く今後とも産業後継者育成協議会が行う花嫁対策事業の一層の展開と町が行う各種後継者対策事業の継続、さらには、将来に向けて新規参入者の受入対策に期待をするところである。



○定住促進賃貸住宅建設工事の概要について

本年度の新規事業の一つとして3条1丁目の町有地に民間が建設する賃貸住宅への補助は建築費4,500万円に対して1戸当たり200万円で今回6戸分1,200万円が交付されている。

木造2階建て1戸の床面積は56.31㎡であり、オール電化で居間には冷房も完備されるなど若者のニーズに

応えた仕様となっている。また、家賃は旭町内にあ

る単身者住宅と同じ35,000円でその他共益費(夏3,000円・冬5,000円)が必要だが、雑草の処理と除雪を建て主が行ってくれる。

申込み状況は好調で町外からの申込みを含めて10件以上の申込みがあり5月上旬から入居を始めている。

町有財産の有効活用と民間の活力の導入により若者

の定住が促進されることは、商工業の育成と町財政に対して意義のあることである。今後においても、公営住宅の入居状況等を勘案した上で積極的に推進すべきと考える。

所管事務調査の申し出

議会閉会中の所管事務調査について、総務経済常任委員会及び議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

- 総務経済常任委員会
 - ・成人病予防対策と要援護者に対する介護事業について
 - ・教育委員会関係について
- 議会運営委員会
 - ・次期町議会(定例会までの臨時会を含む)の運営について

臨時会

第5回(4月30日)

次の3議案を原案どおり可決されました。

○地方税法が改正されたことにより、秩父別町町税条例の文言が改正されました。

○工事請負契約の締結について(ファミリースポーツセンター耐震改修工事1億2,369万円)

○平成25年度一般会計補正予算として、高齢者グループハウス屋上防水補修182万円、生涯学習センター耐震診断530万円、ふれあいプラザ壁補修97万円を増額しました。

第6回(7月1日)

○物品購入契約の締結について(主に歩道を除雪するロータリー除雪車)

◆◆◆ 東日本大震災の被災地を訪ねて ◆◆◆

□ 復興と防災を学ぶ □

議会では、6月19日から21日までの日程で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被害状況と現在までの復興の状況を視察するために、岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市・南三陸町・女川町・石巻市・仙台市を訪れ、陸前高田市ではボランティアガイドによるお話を聞きました。

□ 視察報告 □

最初に訪れた気仙沼市は、津波で港にあった船200隻が内陸まで運ばれ、重油タンク23基が炎上した街です。

現在は、瓦礫処理が進み家の基礎が現われ、そこに街があつた事が分かります。

内陸に打ち上げられた330トンの船は、今も残っています。この船を解体するか、震災の記憶を忘れないためにモニメントと

て残すかの議論で私たちが訪れた時にはそのままの姿を残していましたが、のちに解体することに決まったようです。



続いて訪れた陸前高田市は、奇跡の一本松のある街で、秩父別町が震災発生直後に支援物資を送り届けたまちでもあります。

ボランティアガイドの三好さんから地震発生直後の陸前高田市内の状況や防災についての貴重なお話を聞きながら、復興途中の市内

を見て廻りました。津波で被害を受けた市の中心部は踏切の基礎や商店街のアーケードの一部を残してほとんどが撤去されており、そこに2万人が暮らしていた街とは信じられませんでした。

三好さんは、過去700年の歴史の中で起こった津波の教訓から、先人たちが家を建ててはいけないうい継がれてきた場所に、堤防が作られたことに安心をして、人々は家を建て、道路を造つたことが、今回の被害を大きくした要因ではないかと語っていました。

また、尊い命と共に、図書館や博物館、そして、お寺が被害を受けたことによつて、市の文化や歴史も全て失つたことも陸前高田市にとつては、大きいと話されていきました。最後にこれからは防災ではなく、減災のためのマニュアルを作らなければいけないと体験を

もとの話を締めくくつてくれました。その後、南三陸町の復興商店街や女川町の津波で横倒しになったビルなどを見て津波の恐ろしさや人々の復興に賭ける思いを感じる事ができました。

震災瓦礫の撤去は大量の重機の導入で進んでいるようには見えましたが、復興の第一歩となる住宅地の造成や働くための企業の誘致などはこれからで、死者・行方不明者1万8,550人を出し、仮設住宅などで避難生活を余儀なくされている被災者は未だに31万5,000人もいます。

今回の視察で得た経験を今後の秩父別町の防災に役立てることを誓つとともに、被災地の一日も早い復興を心より願うものです。

312925 23221210 1 2827 19 13119 7 6 5 28251917 15 1312 1 30 4

議会の主なおごき

312925 日日日	23221210 日日日	1 日	2827 日日	19 日	13119 日日日	7 日	6 日	5 日	28251917 日日日	15 日	1312 日日	1 日	30 日	4 日	
実知空議北民秩拓戦第	知空議北民秩拓	行知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓
運長会中央要望	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓
動(8月2日)	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓	知空議北民秩拓

全道町村議会議員研修会開催（6月27日）

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が、札幌コンベンションセンターで全道144町村の議会議員一堂に会して開催されました。



前半は、元官僚で鳥取県知事・総務大臣を経て、現在慶應義塾大学教授・片山義博氏による「議会改革に期待する」と題しての講演です。

地方分権が進めば進むほど議会の責任、権限が重くなっており、変だなと思うことを変えていく具体的な改革が重要であると述べられました。

知事時代には、全て用意されていた答弁書や、黒塗りにされた情報公開などやめさせたり、一つ一つ変えさせることで改革派知事と言われたことや、埼玉県を中心におきた教職員の駆け込み退職問題や、大津市のいじめ自殺事件と教育委員会の対応を例に挙げ、これらは行政・教育委員会の問題として捉えられがちだが、条例や選任同意を議決した議会の責任が重いと、現場・当事者の声をよく聞



きくことや、本当にやる気のある適任者を見極めることが必要であると述べられました。

全てが本町議会に当てはまることではありませんが、住民の声をよく聴くことや、議会の役割、議員の責務を再認識するものでした。

後半は、「今後の政局・政治展望」と題してテレビでもおなじみの政治アナリスト伊藤惇夫氏。

安倍政権は、①国民の安定志向 ②予言することによる期待感の維持 ③前政権の失敗により下駄を履いてのスタート、更にプラスαとしてマスコミが優しいというような要因により好調維持していると評し、前民主党政権の失敗については ①政権運営の未熟さ ②誤った政治主導 ③リーダー選びの間違いなどを挙げられていました。

また、「政府は、日本が今後どんな国を目指すのか

将来像を示すべき」「野党の非力さについて」「参院選の予測」等々について話をされました。最後に、今回の参院選挙は低投票率が心配されている。政治を動かすのは国民であり、投票は国民の権利・義務でもある。投票したい政党・候補者がなければ白紙で投票することも意思表示に繋がることに成るのではないかと話し、とにかく投票に行こうと呼びかけました。



中央政治での豊富な経験を通し、各政党・大物政治家の人柄等に詳しく様々な事柄について興味深い話をされ、面白く聞かせて頂きました。

後記

◆東日本大震災の被災地を巡ってきた。広報の中にも報告が載っていますが、震災瓦礫の撤去は進んでも地域の復興には10年単位で時間がかかるのではないかと感じました。

◆春の仕事の遅れを取り戻すように暑い日が続いています。雨が少ないので野菜にとってはつらい夏だと思いますが、秋の収穫が楽しみです。みなってききましたね。

◆事故に気を付けるだけではなく、シートベルトや速度の出しすぎにはご注意を！町民みんなで「交通事故ゼロ、2000日」を目指しましょう。

（中西伴浩）

「なるほど・なっとくことしの仕事」の追加について 主な追加事業についてお知らせします。

追加事業

- 開基120年記念アルバム撮影業務（総務課総務グループ） 264万円
平成26年に開基120年を迎えるにあたり、開基100年記念アルバム「出会い」と同様の記念アルバムを作成するため、撮影業務を委託します。
- 高齢者グループハウス屋上防水補修（住民課住民福祉グループ） 183万円
高齢者グループハウス「らいふ」で、雨漏りが発生したため、屋上の防水補修を行います。
- 秩父別四季風景フォトコンテスト事業（産業課産業グループ） 43万円
開基120年を迎えるにあたり、秩父別町のすばらしい四季風景などのフォトコンテストを実施します。
- 小型ロータリー除雪車購入（建設課建設グループ） 2,728万円
平成11年に導入した小型ロータリー車の老朽化に伴い、本年度更新します。
- 生涯学習センター耐震診断（教育委員会教育グループ） 530万円
生涯学習センター「生き生き館」の耐震診断を行います。
- ふれあいプラザ壁補修（教育委員会教育グループ） 98万円
北側の壁が大雪の重みで破損したため修理を行います。

MOA美術館深川児童作品展の作品募集について

小学生のみなさんへ

日常の出来事や夏休みの思い出を作品にして応募しませんか？

MOA美術館児童作品展は、子どもたちの創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間形成」を目的として開催します。

最優秀作品に選ばれると、北海道展・全国展へのチャンスが広がります！

多くのみなさんのご応募をお待ちしています。

- ◆開催日時 平成25年10月5日（土）13時～6日（日）15時
- ◆表彰式 平成25年10月5日（土）13時
- ◆会場 深川市生きがい文化センター クリスタルホール
- ◆応募資格 小学校1年生～6年生まで
- ◆テーマ 自由です
- ◆サイズ B3サイズ、または4つ切り。
作品裏面に学校名・名前・学年・題名を記入してください。
- ◆募集締切 平成25年9月6日（金）まで
- ◆主催 MOA美術館深川児童作品展実行委員会
- ◆応募等お問い合わせ先
MOA美術館深川児童作品展実行委員会事務局 金谷節子
〒074-0022 深川市北光町2丁目4-8
電話・FAX 0164-22-4330

国民年金

保険料納付免除制度のおしらせ

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合には、ご本人の申請手続きによって、保険料の納付が「全額免除」または「一部免除（一部納付）」される制度があります。

全額免除制度

保険料の全額（15,040円）が免除

全額免除された期間は、保険料を全額納付したときに比べ、年金額が2分の1として計算されます。（保険料額は平成25年度の額）

☆☆ 全額免除となる所得の「めやす」☆☆

前年所得が以下の計算式で計算した金額の範囲内であること

$$(\text{扶養親族等の数} + 1) \times 35\text{万円} + 22\text{万円}$$

- ※申請者ご本人のほか、配偶者および世帯主の方も所得基準の範囲内である必要があります。
- ※平成24年7月～平成25年6月分の申請については、前々年（平成23年）の所得で審査を行います。
- ※これまで、保険料の全額が免除された期間の年金額は、保険料の全額を納付した場合と比較して3分の1として計算されていましたが、平成21年4月分からは2分の1として計算されるようになりました。

一部免除（一部納付）制度

保険料の一部を免除、残りの保険料は納付

一部免除は3種類です。一部免除をした場合、追納をしなければ、将来の年金額は次のように少なくなります。

- 4分の3免除（納付額 3,760円） → 年金額5/8（21年3月分までは3/6）
- 半額免除（納付額 7,520円） → 年金額6/8（21年3月分までは4/6）
- 4分の1免除（納付額11,280円） → 年金額7/8（21年3月分までは5/6）

☆☆ 一部免除となる所得の「めやす」☆☆

前年所得が以下の計算式で計算した金額の範囲内であること

○ 4分の3免除 → 78万円 + 扶養親族等控除額 + 社会保険料控除額等

○ 半額免除 → 118万円 + 扶養親族等控除額 + 社会保険料控除額等

○ 4分の1免除 → 158万円 + 扶養親族等控除額 + 社会保険料控除額等

- ※申請者ご本人のほか、配偶者および世帯主の方も所得基準の範囲内である必要があります。
- ※平成24年7月～平成25年6月分の申請については、前々年（平成23年）の所得で審査を行います。

（注）一部納付制度は、納付すべき一部の保険料を納付されない場合、その期間の一部免除が無効（未納と同じ）となるため、将来の老齢基礎年金の額に反映されず、また、障害や死亡といった不測の事態が生じた場合に、年金を受け取ることができなくなる場合がありますのでご注意ください。



家族や親戚等に戦没者がいる遺族会の会員が大光寺に集まり、戦没者追悼法要が行われました。

町内のお寺の住職が揃ってお経をあげ、遺族の方々は御焼香を行い供養をしました。

広報に掲載した写真をご希望の方、広報に関するご意見ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡ください。

※写真は電子メール送信による提供も可能です

・電話 33-2111（内線32番）

・メール kouhou@chippubetsu.jp



ちっぷべつ緑のナポリタン推進協議会のメンバーが役場を訪れ、神薙町長に「新・ご当地グルメグランプリ」3位入賞の報告をしました。

神薙町長は、同協議会スタッフの労をねぎらうとともに、3位入賞を一緒に喜びました。



ふれあいプラザで、認定こども園くるみ大うんどうかいが行われました。

園児47人とその家族が大勢集まり、子どもたちが一生懸命走ったり踊ったりする姿に、声援を送っていました。



秩父別IC近くの国道233号線で交通安全24時間特別啓発が行われました。日赤奉仕団やまびこの会のメンバーも街頭に立ち、「スピード出す米（まい）」と書かれた米と飲物をドライバーに渡し、安全運転を呼びかけました。



認定こども園くるみで交通安全教室が行われ、横断歩道マットや手動信号機を用いて道路の渡り方を教わりました。

北海道警察キャラクター「ホクトくん」も登場し、子どもたちは喜んで話を聞いていました。



秩父別ライオンズクラブのメンバーが、昔の懐かしいおもちゃで遊んでもらおうと郷土館前でイベントを開催しました。

来場者は、竹馬やベーゴマなどに挑戦しながら楽しんでいました。



スポーツセンターグラウンドにおいて、秩父別消防団消防演習が行われました。消防関係者や大勢の観覧者が見守る中、団員たちは規律訓練やポンプ操法、模擬火災訓練など、きびきびとした動作で演習を行っていました。



北垣建設工業株式会社（北垣威史社長）の皆さんが、役場前の交差点で、子ども達の夏休み中に交通事故が起こらないようにと、安全運転を呼びかける街頭啓発を行いました。



秩父別小学校で富樫先生演奏によるエレクトーンのミニコンサートが行われました。両手両足を使ったエレクトーン演奏に児童たちは手拍子でリズムをとり、終盤は児童全員で合唱をしました。



姉妹町の綾川町へ出発する親善交流団9名が、神薙町長に出発のあいさつに訪れました。

神薙町長は、「綾川町での様々な体験を通じて、楽しく記憶に残るような交流をしてきてほしい。」と激励しました。



町技能協会会員の皆さんが奉仕作業により、秩父神社内にある忠魂碑の外柵補修を行いました。

石の土台部分が壊れているものもありましたが、きれいに修復されました。